

発見! 弘前の文化財 map

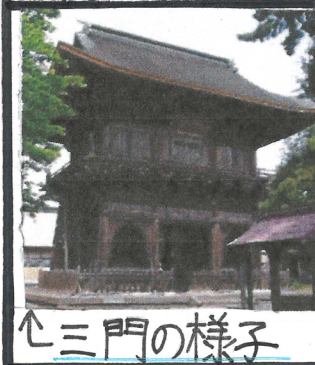
①長勝寺

1528年に南部光信(大浦光信)のお寺として、種里(今の鯉ヶ沢町)に建てられました。その後、光信の子孫の津軽信枚の時代の1677年に弘前城が築かれました。それに合わせて今の場所に移りました。2・3・6代の殿様と、初代・2代の奥方のお墓があります。

●長勝寺の重要文化財

1936年の三門の指定から始まり、1993年の本堂・庫裏の指定まで、長勝寺には重要文化財建造物が9棟あります。それらの建物が古くなってこわれていたことから、1997年~2012年にかけて、修理が行われました。

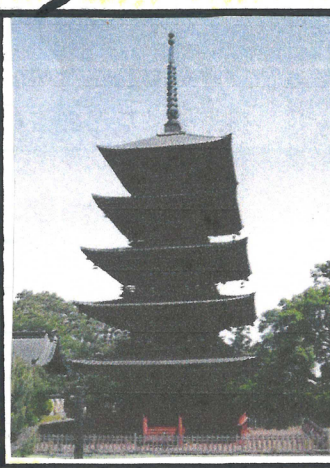
★三門・本堂・庫裏・御影堂・津軽家霊屋が重要文化財に指定されています。



↑三門の様子

②最勝院五重塔

重要文化財に指定されていて、1667年~1668年の1年間で建てられました。高さは、31.2mです。各階の外観がちがっていて、1階のかえるまたには、十二支が書かれています。また、5階のははが1階のははの半分くらいになっています。



最勝院五重塔→

③弘前城

- 二の丸辰巳櫓
 - 二の丸丑寅櫓
 - 二の丸未申櫓
 - 三の丸追手門
 - 二の丸東門
 - 二の丸南門
 - 三の丸東門
 - 北の郭北門
- 天守城には、弘前城に左と上櫓は、のような櫓や門、城があります。

●石垣修理工事 平成27年に天守を曳家し、翌年から石垣の解体工事に着手して、約2200個の石が解体されました。このような大規模な石垣修理工事は、大正4年以来、約100年ぶりの歴史的な工事となります。

★石垣修理工事スケジュール

- 令和2~4年度 北側積直し
- 令和4~6年度 南側積直し
- 令和7年度 天守曳き

三の丸追手門、二の丸南門では保存修理工事を進めています。

高くて大きい、立派な城です!



④旧第八師団長官舎

市役所、弘前公園を目の前にして建てられています。大正6年に堀江佐吉の長男の堀江彦三郎の設計で旧第八師団長官舎として建設されました。3分の2が解体されました。残りが現在の位置に曳家されました。終戦とともに、米軍の進駐部隊(他の領土に進軍し、とどまる軍隊の司令官宿舎として使われましたが、市に返させて、今では弘前市長公舎となっています。

⑤第五十九銀行本店本館

明治37年に完成しました。石づくりのように見えますが、木で建てられています。中央の入リロや正面屋根につき出た部分は、アーチ状のデザインです。左右対称の美しい建物で、かべの中にかわらを入れてぬりこめたり、土戸を使った防火構造です。

⑥木村産業研究所

昭和7年に完成しました。日本でも、最も早い時期のモダニズム建築で、前川國男がはじめて設計し、今年(令和7年)の8月2日に、前川國男の建物としてはじめて重要文化財になりました。